



# 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2022年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 T P R株式会社

コード番号 6463 URL <https://www.tpr.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 矢野 和美

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小島 亮治 TEL 03-5293-2811

四半期報告書提出予定日 2022年2月9日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	120,091	12.7	8,187	66.2	10,972	40.6	5,446	56.8
2021年3月期第3四半期	106,514	△19.7	4,925	△52.0	7,803	△33.3	3,474	△52.5

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 13,145百万円 (170.7%) 2021年3月期第3四半期 4,855百万円 (△46.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	157.93	ー
2021年3月期第3四半期	97.88	ー

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	251,442	153,227	49.2	3,584.32
2021年3月期	244,059	143,139	47.6	3,370.96

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 123,622百万円 2021年3月期 116,232百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	ー	21.00	ー	23.00	44.00
2022年3月期	ー	29.00	ー		
2022年3月期（予想）				29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	158,900	4.5	11,700	18.2	14,300	1.1	6,700	22.6	194.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	36,100,099株	2021年3月期	36,100,099株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,610,466株	2021年3月期	1,619,714株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	34,487,686株	2021年3月期3Q	35,496,930株

（注）期末自己株式数については、株式給付信託（BBT）が保有する当社株式（2022年3月期3Q 255,200株、2021年3月期 83,300株）を含めております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式については、株式給付信託（BBT）が保有する当社株式（2022年3月期3Q 162,265株、2021年3月期3Q 83,359株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報) .....	9

※参考資料 T P R 2022年3月期 第3四半期 決算発表参考資料

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス（以下、コロナ）感染症のワクチン接種が進んだことにより経済回復の傾向が見られますが、新たなコロナ変異株の感染拡大により、先行きの不透明感は続いております。

世界経済に目を向けますと、日本同様ワクチン普及による経済活動正常化の動きが見られるものの、半導体不足をはじめとする供給・物流制約や原材料価格の高騰などにより経済の回復ペースは鈍化しました。今後も、コロナ変異株による感染拡大や供給制約といった諸問題の収束には時間がかかると思われ、米国利上げや中国経済の動向も懸念される状況です。

当社グループが主として関連する自動車業界におきましても、世界的な半導体不足に伴い、グローバルで減産の影響が続く展開となりました。

このような厳しい経営環境の中、自動車メーカー各社の減産影響に加え、原材料価格および輸送費の高騰、東南アジアでのコロナ感染拡大を受けた操業度の低下などが利益の圧迫要因となりましたが、グローバルでの生産最適化による操業カバー、継続した原価低減活動と合理化を徹底遂行することで、当第3四半期連結累計期間につきましては、前年同期比で増収増益となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績数値につきましては、次のとおりであります。

売上高	1,200億91百万円	(前年同期比 12.7%増)
営業利益	81億87百万円	(前年同期比 66.2%増)
経常利益	109億72百万円	(前年同期比 40.6%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	54億46百万円	(前年同期比 56.8%増)

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は19億22百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2億90百万円減少しております。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご参照ください。

セグメントの業績概況は、次のとおりであります。

< T P R グループ（除くファルテックグループ） >

#### ①日本

日本は、売上高は342億99百万円で、前年同期に比べて51億46百万円の増収となりました。セグメント利益は17億23百万円で、前年同期に比べて19億6百万円の増益となりました。

#### ②アジア

アジア地域は、売上高は272億31百万円で、前年同期に比べて66億47百万円の増収となりました。セグメント利益は56億27百万円で、前年同期に比べて12億4百万円の増益となりました。

#### ③北米

北米地域は、売上高は79億90百万円で、前年同期に比べて7億19百万円の増収となりました。セグメント利益は2億76百万円で、前年同期に比べて2億34百万円の増益となりました。

#### ④その他地域

その他地域は、売上高は13億28百万円で、前年同期に比べて1億57百万円の増収となりました。セグメント利益は2億34百万円で、前年同期に比べて86百万円の増益となりました。

< ファルテックグループ >

売上高は492億41百万円で、半導体供給不足長期化によるお客様の生産調整等の影響により、前年同期に比べて9億5百万円の増収と前年同期水準に留まりました。セグメント利益は3億26百万円で、お客様の生産調整に伴うロスや原材料市況高騰の影響をものづくり原価低減活動等により補い、前年同期に比べて1億12百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して73億82百万円増加し、2,514億42百万円となりました。これは主に投資有価証券が28億4百万円、商品及び製品が26億83百万円、有形固定資産が21億55百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末と比較して27億5百万円減少し、982億15百万円となりました。これは主に電子記録債務が13億80百万円、支払手形及び買掛金が6億82百万円それぞれ増加した一方、短期借入金が51億23百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比較して100億87百万円増加し、1,532億27百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定が43億24百万円、利益剰余金が37億23百万円、非支配株主持分が26億98百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2021年5月14日の「2021年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	42,370	39,765
受取手形及び売掛金	47,266	44,202
商品及び製品	10,577	13,261
仕掛品	4,386	5,446
原材料及び貯蔵品	7,729	9,056
その他	5,103	6,041
貸倒引当金	△89	△95
流動資産合計	117,344	117,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,429	23,430
機械装置及び運搬具（純額）	27,685	27,469
その他（純額）	19,279	21,650
有形固定資産合計	70,394	72,550
無形固定資産		
のれん	311	177
その他	1,862	1,983
無形固定資産合計	2,174	2,161
投資その他の資産		
投資有価証券	29,888	32,692
退職給付に係る資産	7,675	7,492
その他	16,728	19,052
貸倒引当金	△145	△185
投資その他の資産合計	54,147	59,052
固定資産合計	126,715	133,764
資産合計	244,059	251,442

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,477	17,160
電子記録債務	7,367	8,748
短期借入金	28,938	23,815
未払法人税等	1,294	1,092
賞与引当金	2,347	1,062
その他	12,180	13,820
流動負債合計	68,605	65,698
固定負債		
長期借入金	13,807	14,287
退職給付に係る負債	5,481	5,068
引当金	1,087	1,034
資産除去債務	176	176
その他	11,763	11,950
固定負債合計	32,314	32,516
負債合計	100,920	98,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,758	4,758
資本剰余金	4,209	4,216
利益剰余金	97,089	100,813
自己株式	△2,735	△2,695
株主資本合計	103,322	107,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,939	13,262
為替換算調整勘定	△2,508	1,815
退職給付に係る調整累計額	1,478	1,450
その他の包括利益累計額合計	12,909	16,529
新株予約権	147	147
非支配株主持分	26,759	29,457
純資産合計	143,139	153,227
負債純資産合計	244,059	251,442

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	106,514	120,091
売上原価	84,059	92,651
売上総利益	22,455	27,440
販売費及び一般管理費	17,530	19,252
営業利益	4,925	8,187
営業外収益		
受取利息	310	142
受取配当金	351	422
持分法による投資利益	1,022	1,620
為替差益	—	52
助成金収入	1,027	251
その他	567	617
営業外収益合計	3,278	3,106
営業外費用		
支払利息	225	173
為替差損	41	—
その他	133	147
営業外費用合計	400	320
経常利益	7,803	10,972
特別利益		
固定資産売却益	36	24
投資有価証券売却益	218	—
特別利益合計	255	24
特別損失		
固定資産除売却損	140	82
投資有価証券評価損	89	200
工場休止損失	113	—
事業構造改善費用	—	79
その他	27	3
特別損失合計	371	365
税金等調整前四半期純利益	7,687	10,632
法人税等	2,217	2,962
四半期純利益	5,470	7,670
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,995	2,223
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,474	5,446



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	5,470	7,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,255	△679
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△2,758	5,004
退職給付に係る調整額	115	△22
持分法適用会社に対する持分相当額	△226	1,172
その他の包括利益合計	△614	5,475
四半期包括利益	4,855	13,145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,472	9,066
非支配株主に係る四半期包括利益	1,383	4,079

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結子会社において、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりです。

有償受給取引について、従来は受給元への販売額に原材料等の受給額を含めた金額で収益を認識しておりましたが、受給品を売り戻す義務を負っている場合、原材料等の受給額を除いた金額で収益を認識する方法に変更しております。また、代理人取引について、従来は総額で収益を認識しておりましたが、顧客への財又はサービスの提供における役割が代理人に該当する取引については、純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,922百万円、売上原価は1,605百万円、販売費及び一般管理費は26百万円それぞれ減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ290百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は77百万円増加しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## (セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	T P R グループ (除くファルテックグループ)					ファルテック グループ	
	日本	アジア	北米	その他地域 (注)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	29,152	20,584	7,271	1,170	58,178	48,336	106,514
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,611	2,418	45	43	8,119	1	8,120
計	34,763	23,003	7,317	1,214	66,298	48,337	114,635
セグメント利益又は損失 (△)	△182	4,422	42	147	4,429	213	4,643

(注) 「その他地域」の区分は、欧州及び南米の現地法人の事業活動であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,643
セグメント間取引消去	93
未実現利益の調整額	187
四半期連結損益計算書の営業利益	4,925

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間（自2021年4月1日至2021年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	T P R グループ（除くファルテックグループ）					ファルテック グループ	
	日本	アジア	北米	その他地域 (注)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	34,299	27,231	7,990	1,328	70,850	49,241	120,091
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,376	2,699	12	68	9,156	53	9,210
計	40,675	29,931	8,003	1,396	80,006	49,295	129,302
セグメント利益	1,723	5,627	276	234	7,861	326	8,187

(注) 「その他地域」の区分は、欧州及び南米の現地法人の事業活動であります。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「日本」の売上高は789百万円減少、セグメント利益は290百万円減少し、「ファルテックグループ」の売上高は1,132百万円減少、セグメント利益の影響はありません。

## 3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,187
セグメント間取引消去	98
未実現利益の調整額	△99
四半期連結損益計算書の営業利益	8,187

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

1. 連結業績：累計

(単位：億円)

	2020年3Q	2021年3Q	増減額	増減率
売上高	1,065	1,200	135	13%
営業利益	49	81	32	66%
経常利益	78	109	31	41%
親会社純利益	34	54	19	57%

為替レート (USD円)	107.49	108.57
為替レート (人民元円)	15.34	16.77

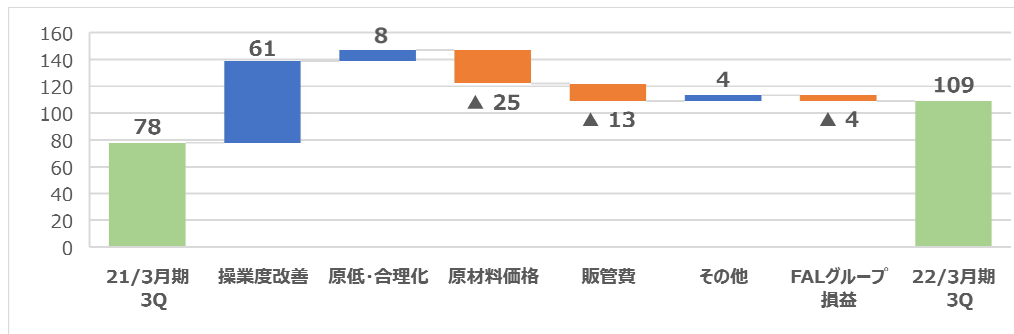
2. セグメント状況

(単位：百万円)

	2020年3Q	2021年3Q	増減額	増減率
日本	29,152	34,299	5,146	18%
アジア	20,584	27,231	6,647	32%
北米	7,271	7,990	719	10%
その他	1,170	1,328	157	13%
TPRグループ計	58,178	70,850	12,671	22%
ファルテックグループ	48,336	49,241	905	2%
連結	106,514	120,091	13,577	13%

日本	△ 182	1,723	1,906	—
アジア	4,422	5,627	1,204	27%
北米	42	276	234	557%
その他	147	234	86	59%
TPRグループ計	4,429	7,861	3,431	77%
ファルテックグループ	213	326	112	53%
消去等	280	△ 1	△ 281	—
連結	4,925	8,187	3,262	66%

3. 経常利益増減要因 (2020年3Q → 2021年3Q期：億円)

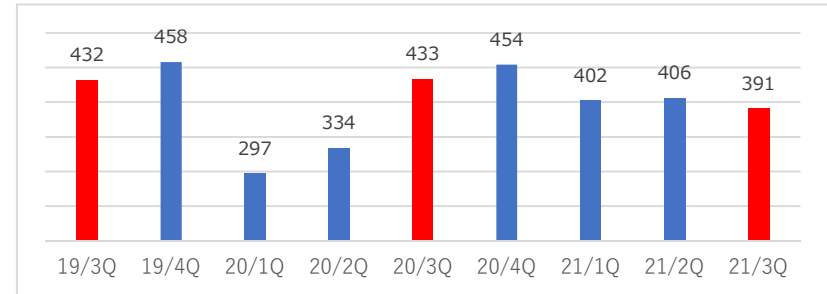


4. 連結業績：四半期実績推移

<売上高>

(単位：億円)

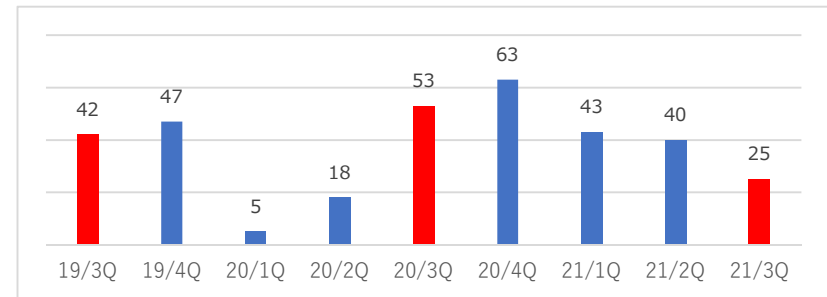
2019		2020				2021		
3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
432	458	297	334	433	454	402	406	391



<経常利益>

(単位：億円)

2019		2020				2021		
3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
42	47	5	18	53	63	43	40	25



5. 2022年3月期 通期業績予想

(単位：億円)

	2022年3月期 通期予想	2021年3月期 実績	前年比
売上高	1,589	1,520	105%
営業利益	117	99	118%
経常利益	143	141	101%
親会社純利益	67	55	122%

	2022年3月期	2021年3月期
1株当たり配当金	年間58円	年間44円
(中間配当)	(29円)	(21円)